

**第1部 「地域学」とは何か**

- 4/14 1. 地域学について 光多長温(鳥取大学・特任教授)  
 4/21 2. 地域で生きる 吉村伸夫(地域文化・教授)  
 4/28 3. ローカルとグローバル 仲野 誠(地域政策・准教授)

【第1回レポート(20点)】～1冊以上の文献を読んでレポートに活かすこと(レポートの末尾に参考図書を記載)。

課題:「地域学」とは何か…連休に帰省したら家族や友人から「地域学って何?」と尋ねられました。3回の講義をベースに、鳥取大学の考える「地域学」について簡潔に説明しましょう。

- \* 提出:5/12(水)講義終了時…初回レポートはワープロソフトの「書式設定」等の演習も兼ねています。
- \* 体裁(書式設定):A4判縦1枚,40字×43行横書き,3行に課題名・学科・学籍番号・氏名を記載,本文40行以内。

**第2部 鳥取大学の地域連携活動**

\*印は外部講師

- 5/12 4. 大学と学生の立場からの地域連携活動 野田邦弘(地域文化・教授)+\*辻堅太郎(大阪市大大学院・院生)  
 5/19 5. 鳥取大学と明治大学との連携活動 \*水野勝之(明治大学商学部・教授)+野田  
 5/26 6. ものづくり道場の実験と因幡の手づくりまつり 土井康作(地域教育・教授)+先輩学生  
 6/02 7. 中間討論(学科世話人vs受講生)

※論点:第1レポートの好評・第2レポートへの期待+地域連携活動について

【第2回レポート(40点)】～新たに1冊以上の文献を読んでレポートに活かすこと(同)。

課題:「地域連携活動」への期待と関与…4～6回の講義においてどのような「地域連携活動」が提示されたかをまず整理した上で、地域学研究会のサイトで紹介されている「地域連携活動」も参照しつつ、鳥取大学の地域連携活動への期待や自らの関与について述べなさい。

- \* 提出:6/16(水)講義終了時…2回目レポートは「両面印刷」の練習も兼ねています。
- \* 体裁:A4判1枚の両面印刷,40字×43行,3行に課題名・学科・学籍番号・氏名を記載。およその分量配分は、表面が講義の整理、裏面は関心のある課題に関する論述+参考文献やURLなど。

**第3部 「地域づくり」の実践**

- 6/09 8. 鳥取砂丘の自然を読み解く:動物のインベントリから鳥取砂丘検定まで 鶴崎展巨(地域環境・教授)  
 6/16 9. アートの力で地域を変える \*北川フラム(大地の芸術祭総合ディレクター)+野田  
 6/23 10. 地域の生き残り戦略 \*山内道雄(海士町長)+竹川俊夫(地域政策・講師)  
 6/30 11. コミュニティスクールの挑戦 \*杉本由香里(南部町教育委員会)+渡部昭男(地域教育・教授)  
 7/07 12. 景観から読む鳥取の風土と人々の暮らし 小玉芳敬(地域環境・教授)  
 7/14 13. 鳥の劇場の実験 \*中島諒人(鳥の劇場・主宰)+新倉健(芸文センター・教授)  
 7/21 14. 総合討論(学科世話人vs受講生)

※第2レポートの好評・最終レポートへの期待+「地域づくりの実践」について

【第3回レポート(40点)】～新たに2冊以上の文献を読んでレポートに活かすこと(同)。

課題:「地域学」と「地域づくり・人づくり」…地域学部では「地域づくり」や「地域における人づくり」に取り組む志と能力のある人材を養成します。「地域学入門」を受講して、どのような「地域づくり(人づくり)」に取り組んでみたい(または在学中に学習・研究してみたい)と思いましたか。「地域学」の可能性と重ねて述べなさい。

- \* 提出:7/28(水)講義終了時
- \* 体裁:A4判1枚両面,40字×43行,3行に課題名・学科・学籍番号・氏名を記載,本文83行以内。

- 7/28 15. 総括レクチャー 「地域学とは何か」=第1部担当者による総括の講義(またはパネル討論)

◎総括=渡部,各学科世話人=竹川(政策),足立(教育),茨木(文化)・平井(センター),鶴崎(環境)。

◎TA=寺岡(院生・地域教育専攻M2年生)

◎90分の配分=15分(予習事項の発表)+60分(講師の講義)+15分(質疑応答&感想文記入)

◎受講生へ:①各学科から1名が出て毎回発表。②感想文(質問)を毎回提出。③4回以上の欠席は未履修扱い。

◎講義2単位={授業1コマ(2時間換算)+4時間の自習}×15回の計90時間～4冊以上の文献を読破!